

Kins University Press, Baltimore, 1971.

【編著書】 McC. Brooks, Ch. and Levey, H.A.: *Humorally-*

*Transported Integraters of Body Function and the Development of Endocrinology*: 183—238 in McC. Brooks, Ch. and Crane-field, P.F. (eds.): *The Historical Development of Physiological Thought*. Hafner, New York, 1959.

六 投稿原稿は、コピーを一部添付すること。原稿は著者校正の際も原則として返却しないので、手元にコピーを一部残すこと。

七 著者校正は、原則として原著・総説・研究ノート・広場・資料を対象とし、初校のみとする。校正は印刷上の誤植を訂正するに留め、原稿の変更や、その他の組み替えは認めない。校正刷りの返送期日を厳守すること。期日までに返却されない場合は責とみなす。

八 刷り上り一〇印刷ページ(四〇〇字詰原稿用紙で二四枚)までは原則として無料とし、超過分と図表製版の実費は著者負担とする。

九 論文別刷は五〇部単位とし実費で作製する。別刷希望者は校正刷同封の申込書に部数を明記すること。

一〇 原稿の送り先

千一一三 東京都文京区本郷二丁目一一一

順天堂大学医学部医史学研究室内

日本医史学雑誌編集委員会

## 編集後記

学会雑誌の生命は原著、あるいは研究ノートにあることは、会員のひとしくみとめるところであろう。これなくしては学会雑誌とはいえない、といっても過言ではない。そこでこれらの論文がふえることは、学会としても慶賀にたえぬところであるし、編集委員会にとつてもこの上なくよろこばしいことと思つてゐる。

しかしこの範疇にぞくする論文は、査読という関門をへなければならぬので、投稿いただいたからといって、すぐに印刷にかかれない手続上のポイントがある。そのため各論文の受付日と発刊日を見ていただければおわかりのように、投稿後掲載までに早くとも数ヶ月、ときには一年近くの時間が必要になつてくる。

査読をお願いしたり、新刊紹介の執筆をお願いしたりと、編集委員会から一方的にお願いする場合がおおいが、これはそれぞれの分野における最高・最適と思われる方に、ご無理を承知でご依頼申しあげている。

編集委員会の立場をご理解いただいて、指定された締切り間にあうよう、ご提出をあらためてお願いしたいと思う。あまりに遅延することがあれば、原著者である投稿者にも申しわけないことであるし、新刊紹介が旧刊紹介に変身してしまうことになりかねない。

(深瀬 泰旦)